

第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要】

第2期の基本的な考え方

○これまでの取組や新たな課題を踏まえ、令和3年度から令和7年度までの今後5年間に集中的に取り組む施策として、以下の4つの基本目標の下、戦略的な産業振興や移住・定住施策の再構築、待機児童の解消、都市機能の充実等に総合的に取り組み、少子高齢化・人口減少時代における新たな都市モデルを創造していく。

基本目標

第2期における主な取組

基本目標1

岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する



- 少子高齢化の中で円滑な事業承継を支援するとともに、スタートアップ支援拠点事業をはじめとして、さらなる創業支援を図る。
- 本社機能を有するサテライトオフィス等も含めた企業立地促進に取り組み、IT・デジタルコンテンツ産業の誘致、ICT人材の育成支援など、戦略的な産業振興を推進する。
- 新型コロナウイルス感染症により縮小した経済の回復、景気低迷の長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化に対応した産業の支援を図る。

基本目標2

岡山市への新しいひとの流れをつくる



- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人口密度が高い東京圏に集住するリスクの再認識やテレワークなどの働き方の変化によって地方移住への関心が高まっていることを踏まえ、移住・定住施策の再構築を図る。

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



- 引き続き、待機児童の解消に取り組むとともに、困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援を行い、安心して出産・子育てができる環境づくりを進める。

基本目標4

安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する



- コンパクトでネットワーク化されたまちづくりに取り組むとともに、東京一極集中からの転換に向けて、中四国のゲートウェイにふさわしい都市機能の充実を図る。
- 周辺地域においては、交通手段や生活サービスを確保するとともに、移住・定住による地域活性化や地域の歴史文化資源の継承等を地域振興基金も活用しながら促進する。
- 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防やまん延防止に必要な対策を、適切かつ迅速に進める。